

平成十六年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

(1)第三十七回中央教化研究会議

●期日 九月八日(水)～九日(木) 一泊二日

●会場 宗務院会議室

●教区教研運営委員や関心のある教師の参加

●運営会議を開き、内容を協議し、企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

(2)教区教化研究会議の開催運営

●全教区での開催運営。

●中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教化の現場に関連するテーマを企画し、教化研究の充実を図る。

●教研運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、企画・準備・運営に取り組む。

2、研究部門

(1)日蓮教学の現代化。中央教研や教化学研究発表大会

の成果を踏まえ、研究員を中心に教学の現代化について研究を行う。

(2)教化学の研究。第五回教化学研究発表大会を開催し、教化のあり方、現代教化の方策を研究する。必要に応じて、教化学研究集会を開く。研究発表を通じて、中央教研と教区教研との交流をはかる。

(3)教団論の研究。第十五回法華経・日蓮聖人・教団論研究セミナーを開催し、現代の諸問題と教学・教化について研究をすすめる。

(4)研究例会。研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点として、研究を継続し、成果を発表する。

(5)新宗教研究。法華系新興教団を中心に、研究を行う。

(6)教団史研究。明治以降の近代日蓮教団史を中心として、他教団との関わりについて研究する。

(7)現宗研ホームページサイト上の「日蓮宗教化セン

ター」を運用する。また、諸資料のデータベース化、各種事業の公開など新たな布教伝道方法を研究する。

(8) 「仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会」「教団付置研究所懇話会」への参加。

(9) その他

3、調査部門

(1) お題目総弘通運動総括全教師アンケート結果をもとに、今後の教団のあり方を調査する。

(2) 全女性教師アンケートの結果をもとに、あらゆる調査をする。

(3) 必要に応じてアンケート調査をする。

(4) その他

4、資料部門

(1) 各教化センター等との教化研究・布教資料などの交流を図り、収集に努める。

(2) 図書を購入し、コンピュータにより蔵書を管理する。

(3) 視聴覚資料の購入・保管。

(4) 各種教化資料を収集し、保管する。

(5) 創価学会など法華系新興教団に関する資料を収集し、保管する。

(6) 「現代宗教研究」第三十九号の発行。

(7) 平成十五年日蓮宗年表の発行。

(8) 教化シリーズの発行。

(9) その他

5、会議

(1) 教化センター連絡会議を開催し、四十三教化センター間の交流、情報交換などを行う。

(2) 教区教化研究会議連絡会議を開催し、各教区の教区運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図り、一層の充実を目指す。

(3) 顧問会議・囑託会議・研究員会議の開催。